

4 - 1 御前崎菱形基線測量結果 (2)

Deformation of Omaezaki Rhombus (2)

国土地理院 地殻活動調査室
Crustal Activity Research Office,
Geographical Survey Institute

1970年11月、静岡県掛川市周辺に御前崎菱形基線が設置され、1971年11月に再測定が行われた。1970年11月の測定結果は会報第5巻(44頁)に報告されている。

この菱形基線の前回(1970年11月)と今回(1971年11月)の測定結果を比較すると、南北方向の変化は認められないが東西方向は、縮みの傾向がみられる。(第1図、第1表)

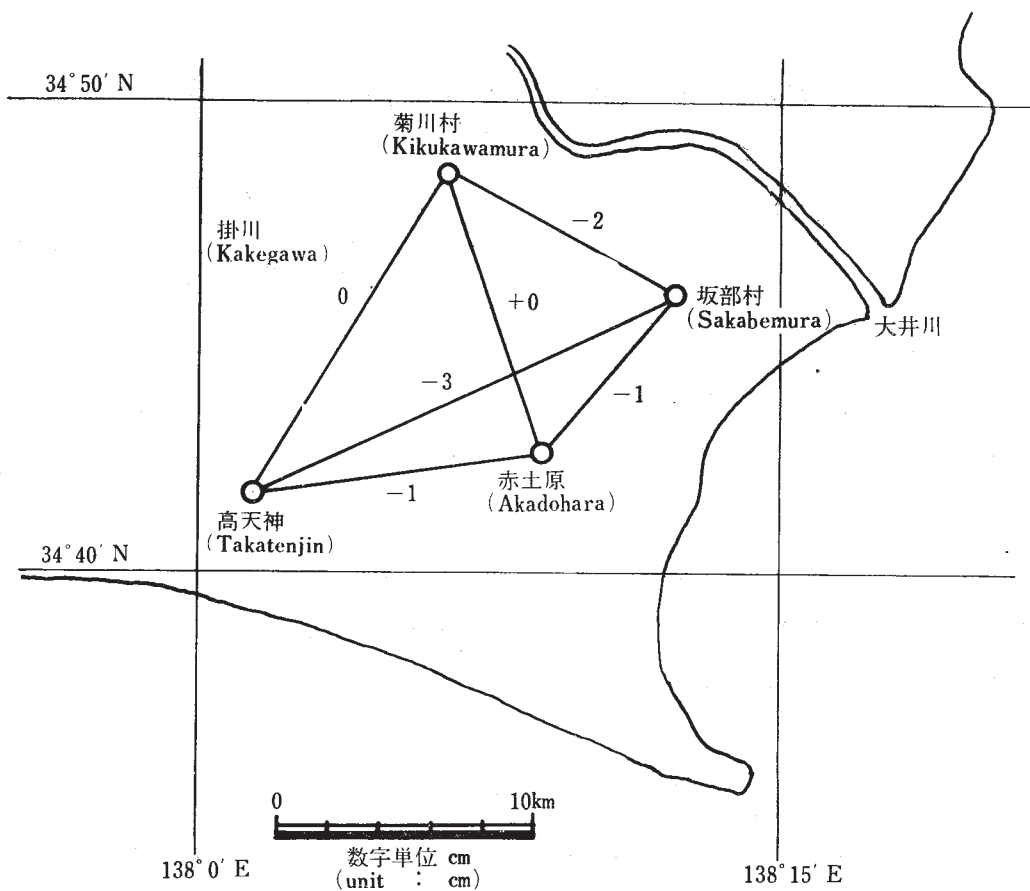
第2図は、明治成果と比較できる高天神-坂部村の辺長の変化を示めたものである。

この辺はほぼ東西方向であり、明治以来引きつづいて縮みを示めしていることが注目される。

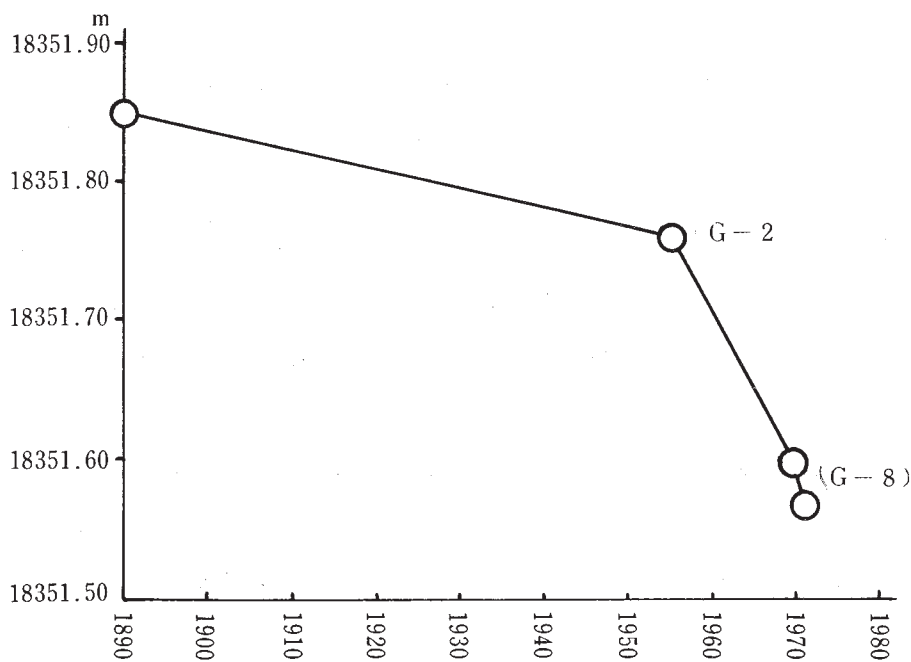
第1表 御前崎菱形基線辺長測定

Table 1. Distance measurements of Omaezaki Rhombus

区 間	Ⅱ	I	Ⅱ - I
	1971. 11	1970. 10~11	
菊川村-赤土原	1 1 0 9 1 . 7 6 3 ^m	1 1 0 9 1 . 7 6 0 ^m	+ 3 ^{mm}
〃 - 高天神	1 4 4 1 6 . 2 7 6	1 4 4 1 6 . 2 7 6	0
〃 - 坂部村	9 9 8 1 . 0 3 7	9 9 8 1 . 0 6 2	- 2 5
赤土原-高天神	1 1 4 6 0 . 0 0 1	1 1 4 6 0 . 0 0 9	- 8
〃 - 坂部村	8 0 3 0 . 7 5 1	8 0 3 0 . 7 6 4	- 1 3
高天神-坂部村	1 8 3 4 6 . 6 1 8	1 8 3 4 6 . 6 4 7	- 2 9



第1図 御前崎菱形基線変化図 (期間 1970. 11 ~ 1971. 11)
 Fig. 1 Distance changes of Omaezaki Rhombus (1970. 11 - 1971. 11)



第2図 高天神-坂部村間辺長変動図
 Fig. 2 Secular changes of distance between Takatenjin and Sakabemura